



桐生市役所 新庁舎業務開始・教育センター供用開始

桐生市 総務課
教育委員会 総務課

● 桐生市役所 本庁舎

■ 新本庁舎建設の背景

桐生市役所旧本庁舎は昭和40年に本館と議事堂・昭和57年に新館を建設し、これまで桐生市の行政の中心として多くの市民の皆様にご利用いただき、親しまれてきました。しかし、震度6強以上の大規模地震が発生した場合に倒壊などの危険性が高いと診断され、庁舎の耐震化は避けて通ることができない喫緊の課題であり激甚化・頻発化する災害時の防災拠点としての整備も大変重要なことと考え、新本庁舎を整備しました。



桐生市本庁舎 外観

■ 桐生らしい庁舎

令和6年11月に竣工した本庁舎は、繊維産業が盛んな「織都」桐生を象徴する「糸巻」のような形態が特徴的な六角型の庁舎です。「まゆ」をイメージした美喜仁桐生文化会館と対をなし、桐生のまちづくりの核を形成しています。

本庁舎の家具やサインには市内で生産された繊維生地を活用し、また、軒や内装・家具の随所には桐生市産のスギ材を採用しています。

■ 環境への配慮

吹き抜けを利用したエコボイドによる自然採光と自然換気が省エネ性能を高め、SDGsに貢献するとともに環境配慮型官庁施設として、ZEB ready※1とCASBEE※2の認証を取得しました。

■ 安全・安心

地震の揺れを最も抑えることのできる免震構造を採用し、大規模地震発生時にも防災拠点としての機能を維持します。また、電気室や非常用発電機室を最上階に設置することで、水害時の自立性を高めています。

■ 今後の予定

令和7年3月時点では旧本庁舎の解体工事が行われており、その後、新本庁舎のエントランス底設置工事・外構工事が2期工事として行われ、令和8年3月には全ての工事が竣工する予定です。

● 桐生市教育センター・桐生市教育支援センター

■ 整備の背景

桐生市役所新本庁舎の建設を契機に今まで分散していた教育委員会事務局や教育研究所、教育資料室等の既存教育施設を集約し、教職員研修機能や教育相談体制、不登校・生徒指導対策などの充実を図るため、旧桐生市立西中学校を活用して桐生市教育センターを整備しました。

■ 桐生市教育センター

新設した教育センターのエントランス外壁には桐生をイメージした織物の模様を施したほか、執務室や会議室など建物全体の内装は白を基調とした配色とすることで開放的な空間に仕上げました。

また、サインには国際基準を採用するとともに、英語表記を併記することで多文化共生に配慮した環境を整備しました。

■ 桐生市教育支援センター

教育センター敷地内に新設した教育支援センターは、学校に通うことが難しい児童生徒に対して学校生活や社会生活への復帰を支援するための施設です。

建物の内装や児童生徒が使用する机や椅子に市産材などをふんだんに活用することで、木の温もりを身近に感じ、落ち着いた生活を送れるような工夫をしました。また、建物正面に運動場や野菜などを栽培できる教材園を設置することで、児童生徒が楽しみながら学ぶことができる環境を整備しました。

※1 ZEB Ready…将来的にZEB(ゼロエネルギービル・建物内でのエネルギー自給自足)の取得を目指す建築物の段階で、省エネ性能の向上に力を入れた建築物。

※2 CASBEE(建築環境総合性能評価システム)…建築物の環境性能の評価・格付け制度。評価は「S」や「A」「B」「C」等とランク化されており、高いランクほど環境性能に優れた建築物として認証される。



桐生市教育センター



桐生市教育支援センター